

東屋

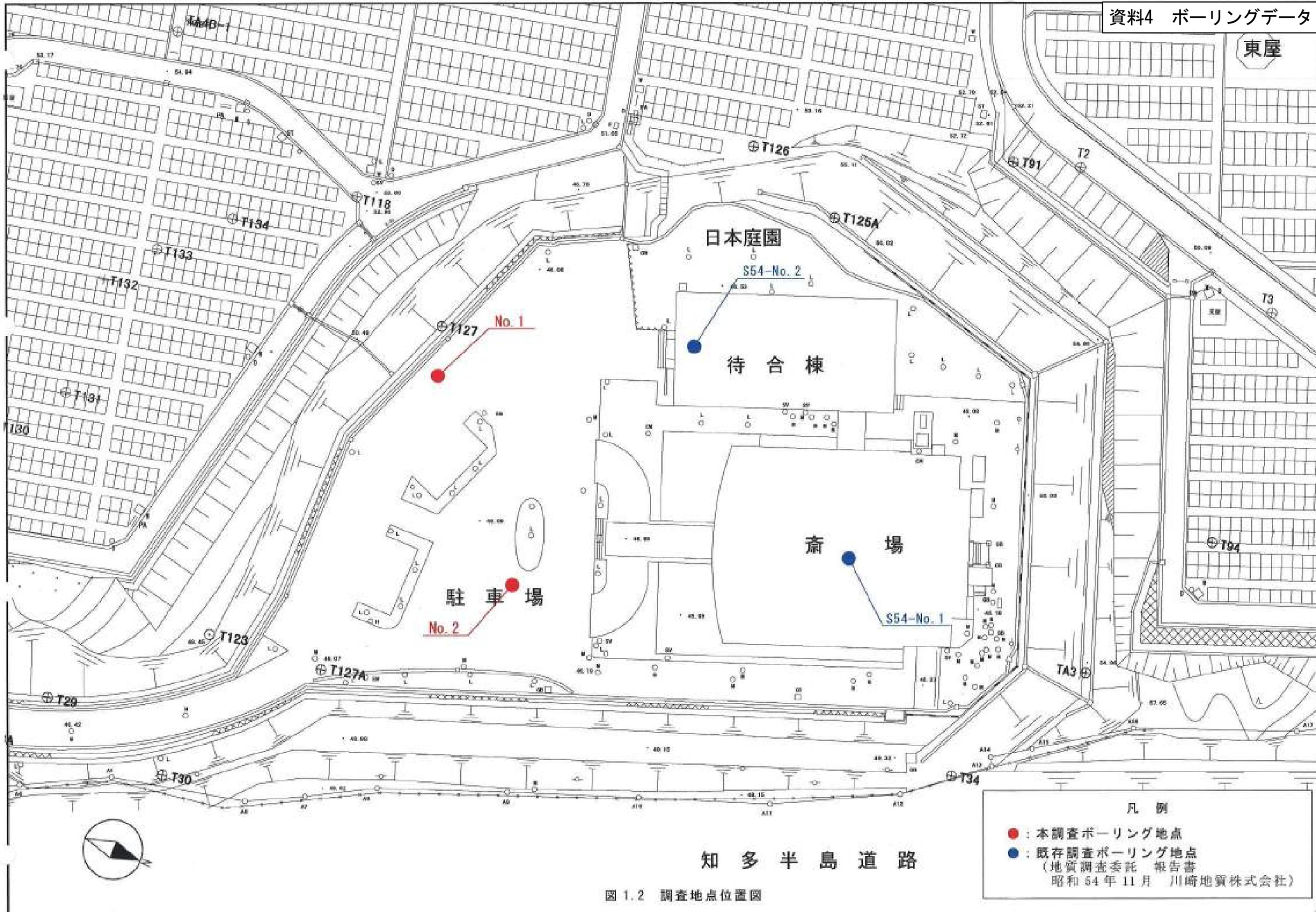


図 1.2 調査地点位置図

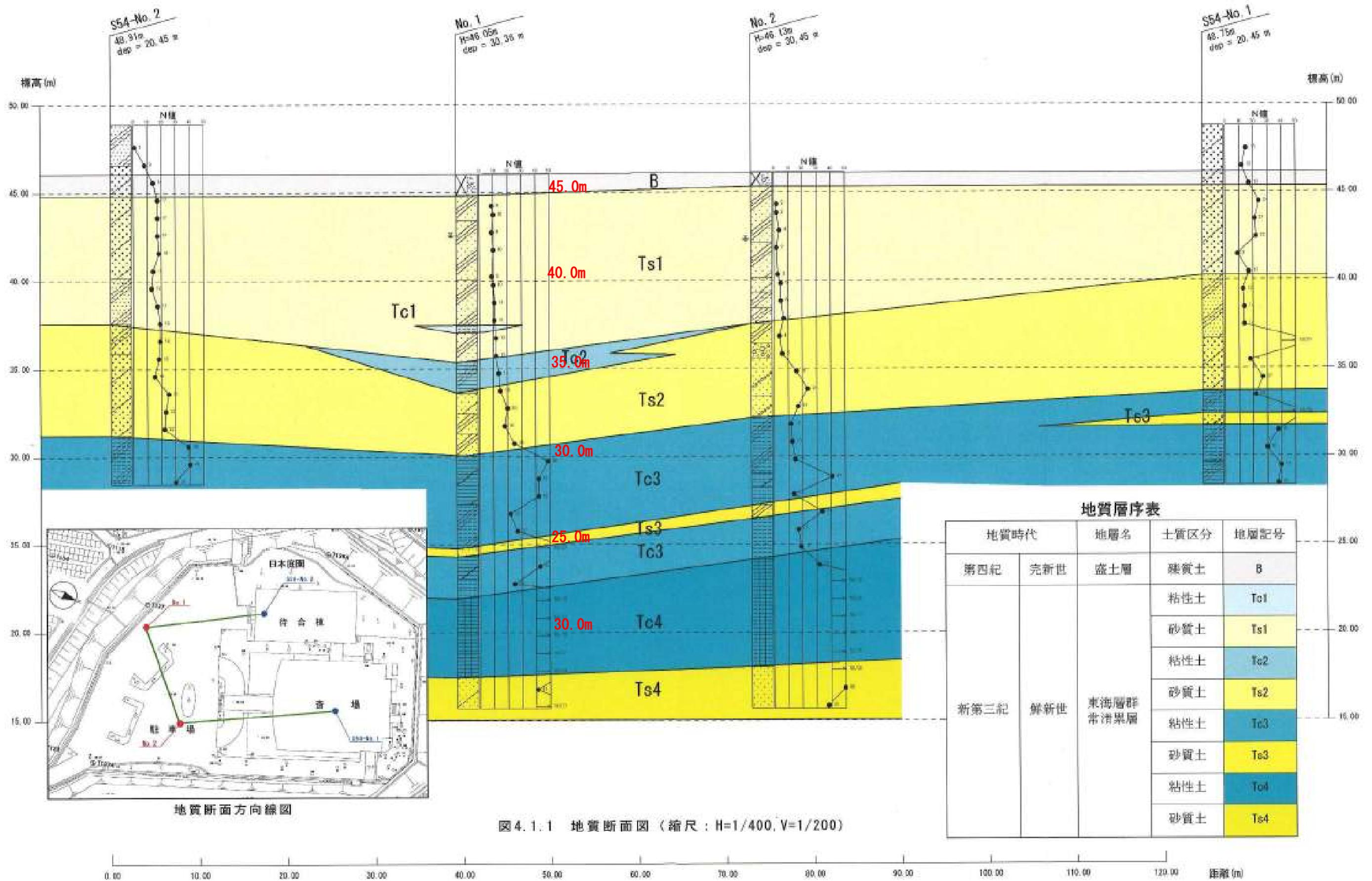


圖 4.1.1 地質断面圖 (縮尺: H=1/400, V=1/200)

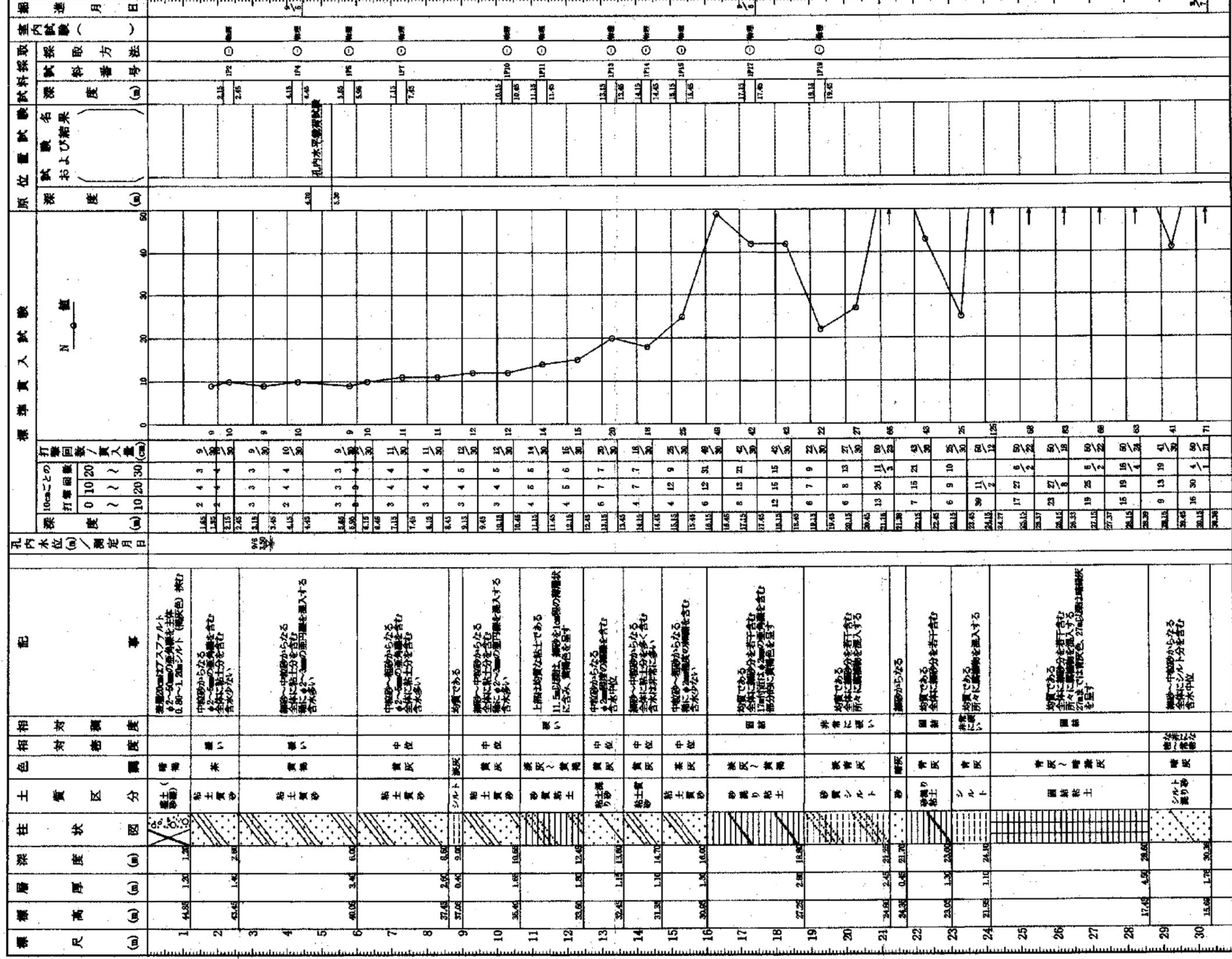
# ボーリング柱状図

調査名 地質調査業務

事業・工事名

ボーリングNo

ボーリング名	No. 1		調査位置	大府市桜木町 知北斎場内		シートNo	北 緯 34° 58' 43.93"	
発注機関	知北平和公園組合		調査期間	平成 28年 9月 5日 ~ 28年 9月 7日		東 経	136° 55' 25.82"	
調査業者名	川崎地質(株) 中部支社 電話 (052-775-6653)		主任技師	田中英之 田中英之		ボーリング責任者	日南 元章	
孔口標高	H=46.05m	方位	北 0°	東 90°	西 270°	ハンマー	半自動落下式	
総掘進長	30.36m	傾斜	0°	0°	0°	エンジン	NFD-10	
							ポンプ	



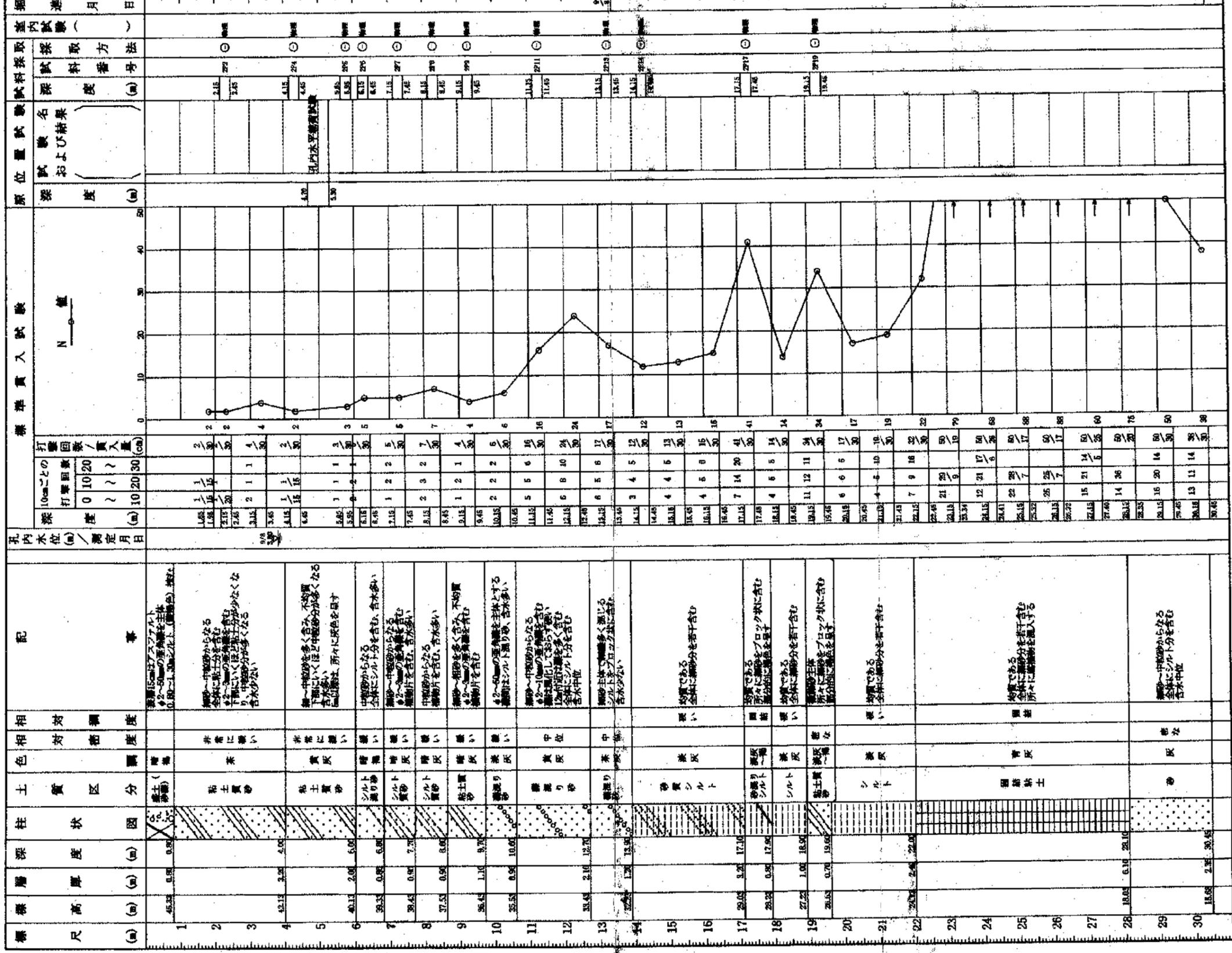
# ボーリング柱状図

調査名 地質調査業務

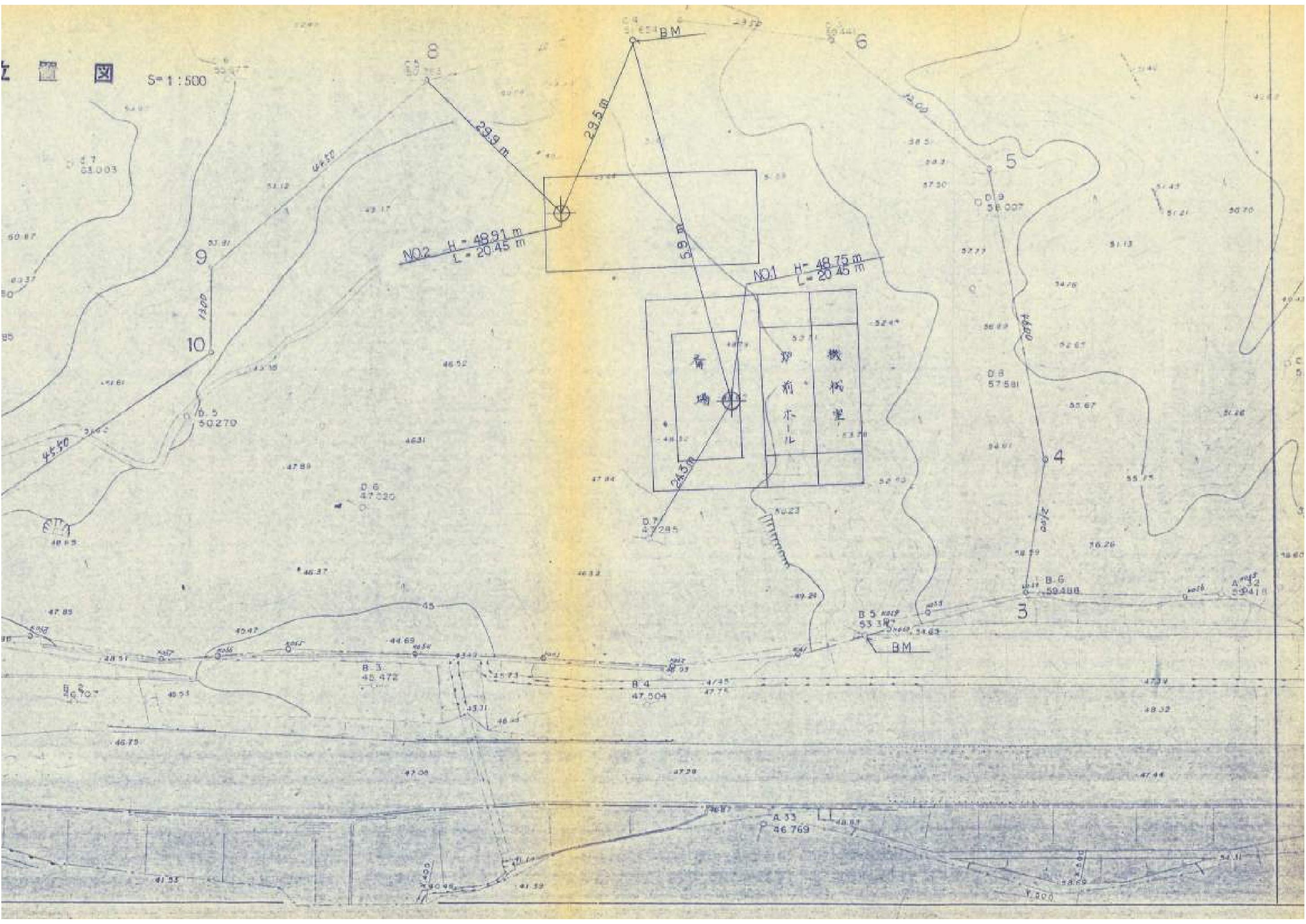
事業・工事名

ボーリングNo.

ボーリング名	No. 2		調査位置	大府市桜木町 知北斎場内		シートNo	北緯 34° 58' 44.64"	
発注機関	知北平和公園組合		調査期間	平成 28年 9月 8日 ~ 28年 9月 10日		東経	136° 55' 26.94"	
調査業者名	川崎測量(株) 中部支社 電話 (062-775-6653)		調査場所	田中英之 田中英之 ア丁 田中英之 ア丁 田中英之		ボーリング責任者	日南 元章	
孔口掘高	46.13m	IF	主任技師	田中英之		ハンマー	半自動落下式	
総掘進長	30.45m	度	方角	北 0° 東 90° 西 180° 南 270°		エンジン	NFD-10	
			地盤勾配	東 90°		ポンプ	V-6	



S=1:500



NO2 H = 48.91 m  
L = 20.45 m

NO1 H = 48.75 m  
L = 20.45 m

香  
瑞

即  
前  
亦  
北

機  
械  
庫

B-3  
45.472

B-4  
47.504

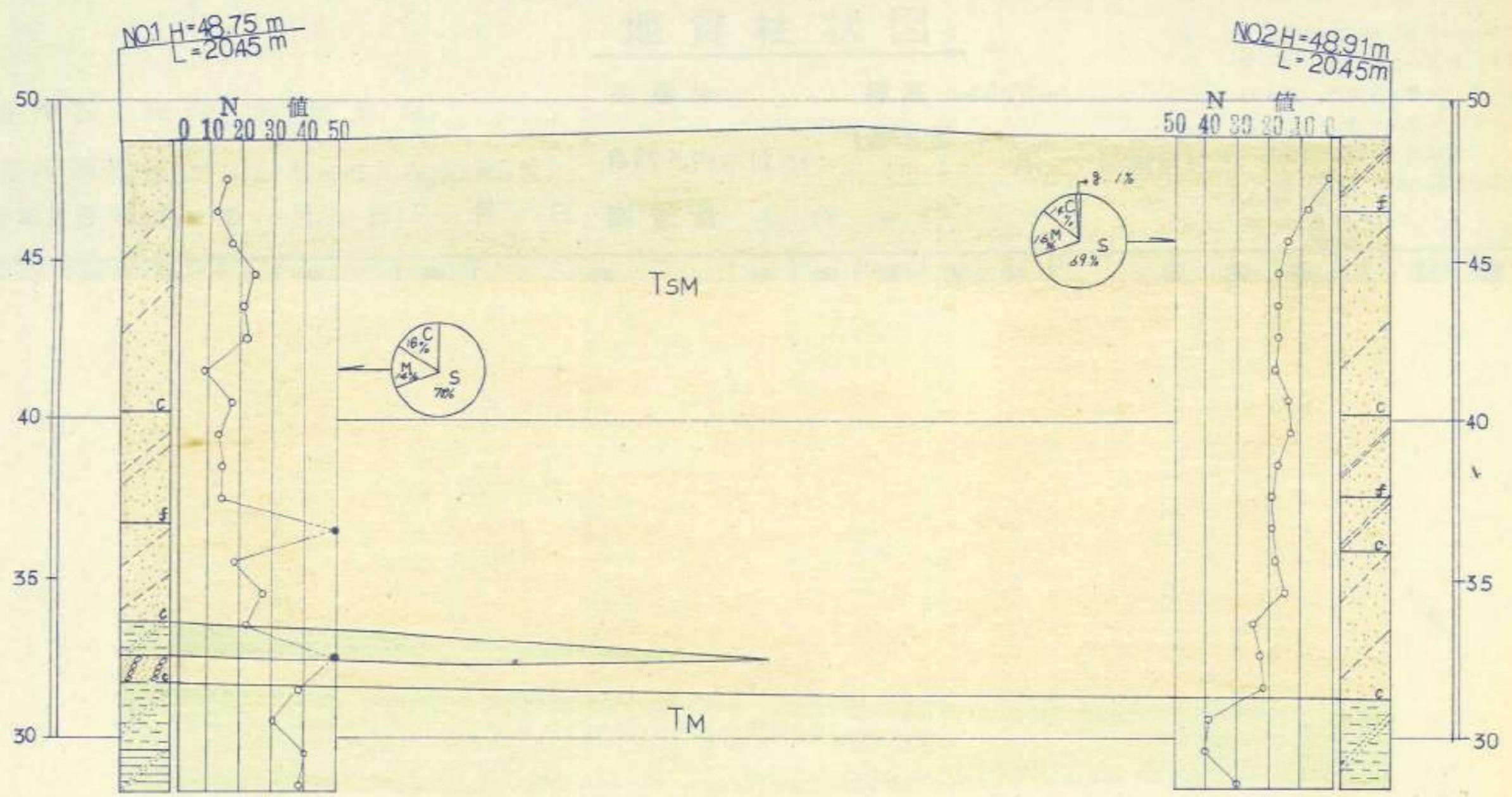
B-5  
53.387

B-6  
59.488

A-33  
46.769

A-32  
59.418

地質推定断面図 (縦横 1/200)



TSM: 単層累層砂質土層 (細粒分心より粒径不均一で全線にわたる砂層)

TM: 単層累層粘性土層 (火山灰質と至る砂質シルト。硬質である)



# 地質柱状図

調査件名 地盤調査委託

孔番 No. / 標高 42.75 m

調査場所 豊田県豊田市中野町内 新築現場

自然孔内水位 GL- (基準面) m ( ) 月 日測定

調査年月日 昭和 54 年 11 月 20 日

調査員 長野 二郎

(注) 1. 読みやすい試料 (記号の右の数字は試料番号)

- T-1 シンサンソールサンプラーによる採取
- D-2 アンサンサンプラーによる採取
- S-3 スチールサンプラーによる採取

2. 試料採取深度と回数は

4.00 45/50  
1.50 45/50は回数は

標高 m	深度 m	層厚 m	柱状図記号	地質名	色調	観察	相対密度	相対稠度	標本資料 No.	試料		標準貫入試験			尺 m
										採取記号	採取深度 m	深度 m	N 値 回/30cm	10cm毎の 打撃回数 回/30cm	
42.75	0.00					粘土層上部	中程		1			10	10	0	
42.75	0.00	0.20			赤灰	粘土層上部 含水量少	中程		2			10	10	1	
42.75	0.20	0.20				粘土層上部 含水量少	中程		3			10	10	2	
42.75	0.40	0.20				粘土層上部 含水量少	中程		4			10	10	3	
42.75	0.60	0.20				粘土層上部 含水量少	中程		5			10	10	4	
42.75	0.80	0.20				粘土層上部 含水量少	中程		6			10	10	5	
42.75	1.00	0.20				粘土層上部 含水量少	中程		7			10	10	6	
42.75	1.20	0.20				粘土層上部 含水量少	中程		8			10	10	7	
42.75	1.40	0.20				粘土層上部 含水量少	中程		9			10	10	8	
42.75	1.60	0.20				粘土層上部 含水量少	中程		10			10	10	9	
42.75	1.80	0.20				粘土層上部 含水量少	中程		11			10	10	10	
42.75	2.00	0.20				粘土層上部 含水量少	中程		12			10	10	11	
42.75	2.20	0.20				粘土層上部 含水量少	中程		13			10	10	12	
42.75	2.40	0.20				粘土層上部 含水量少	中程		14			10	10	13	
42.75	2.60	0.20				粘土層上部 含水量少	中程		15			10	10	14	
42.75	2.80	0.20				粘土層上部 含水量少	中程		16			10	10	15	
42.75	3.00	0.20				粘土層上部 含水量少	中程		17			10	10	16	
42.75	3.20	0.20				粘土層上部 含水量少	中程		18			10	10	17	
42.75	3.40	0.20				粘土層上部 含水量少	中程		19			10	10	18	
42.75	3.60	0.20				粘土層上部 含水量少	中程		20			10	10	19	
42.75	3.80	0.20				粘土層上部 含水量少	中程		21			10	10	20	

### 地質柱状図

調査件名 地質調査委託 標高 47.97 m  
 調査場所 東京都中央区新富町 自然孔内水位GL 47.97 m (基準面)  
 調査年月日 昭和34年11月27日 調査員 倉田昇 日測定

(注) 1. 凡さない試料 (記号の右の数字は試料番号)  
 T-1 シンワオールセンプレーによる採取  
 D-2 デンソウセンプレーによる採取  
 S-3 スチールセンプレーによる採取  
 2. 試料採取深度と相対比  
 1.00  
 45/50  
 4.50

標高 m	層厚 m	柱状図記号	地質名	色調	観察	相対密度	相対稠度	標本資料No.	試料		標準貫入試験		尺 m
									採取記号	採取深度 m	深度 m	N 値 回/30cm	
48.97	0.20				粒子細、均一 含水多 細粒介在して多い	非常の多い							0
48.77	0.20		シルト質細砂	黄灰	上部中細砂様む	多い							1
48.57	0.20			黄灰	4cm ~ 下部粒子粗い 全体に粗粒不均一								2
48.37	0.20			黄灰	若干粘泥帯びる								3
48.17	0.20			黄灰	下部含水少ない								4
47.97	0.20		シルト質粗砂	黄灰	5cm 附近含水多 微細泥多 細粒介在多い	中程							5
47.77	0.20			黄灰	6cm 附近 軟弱な帯	中程							6
47.57	0.20		シルト質粗砂	黄灰	所々で角石様含む	中程							7
47.37	0.20			黄灰	10cm 付近より含水 多 地盤割断して多い	中程							8
47.17	0.20		シルト質粗砂	黄灰	下部より粗粒多 上部 極細粒砂 混入	中程							9
46.97	0.20		新成シルト	黄灰	固結してやや硬い								10

